



寺林 俊幸 議員  
(政清会)



我が国の労働人口は平成7年から減少局面に入っており、本年発表された帯広職業安定所における平成25年度平均有効求人倍率は0.84倍（一般パート）と急激な伸びを示した。この傾向は全国的な傾向にあり、労働力不足になると想定されている。労働人口減少への対策として国は女性、高齢者など潜在的能力を有する人々の労働市場への参加促進が不可欠であるとしているが、育児支援、企業制度の改革、法の整備など課題も多い。そこで労働人口確保対策について町の考えを伺う。

(1) 幕別町援農協会、高齢者就労センターの現状と、将来に向け連携などを含めた取り組みの可能性について。  
(2) 学童保育所の入所状況と今後の取り組みについて。  
(3) 女性労働者増加に対応すべき女性管理職登用拡大について。

町長 (1) 幕別町援農協会の会員の就労内容は、農作業全般にわたる

問 労働人口減少対策について

答 減少傾向、高齢化傾向が続くが、何とか歯止めをかけていかなければと思っ

が、平成25年度の就労者会員の登録者数は57人で、平均年齢は66.7歳、平成20年度の65人に比べ、5年間で8人、12.3%減少しており、生産者会員が求める人材の確保が困難な状況になってきている。

高齢者就労センターの会員の就労内容は、公園等の草刈りや道路街路樹の剪定などのほか、民間家庭等の庭木の剪定や草取り、農作業などであるが、平成25年度の登録会員数は170人で、平均年齢は71.5歳、5年前に比べると27人、13.7%の減となっており、庭木の剪定など、特別な技術を要する仕事に対応できる会員の減少や農作業などの重労働が困難な会員もいることから、就労依頼に応じられないことも生じてきている。

連携などを含めた取り組みの可能性については、それぞれ就労目的や就労形態も異なっていることから、今後、両組織の連携の可能性などについて意見交換を行うとともに、関係する農業協同組合とも労働力の確保対策などについて協議し

ていきたいと考えている。



高齢者就労センター会員による道路清掃、草刈りの様子

(2) 入所状況は左表のとおり。

学童保育所の在籍状況  
(平成26年6月1日現在)

地区	学童保育所名	定員	在籍数
幕別	はぐるま学童保育所	50	41
	あすなろ学童保育所	40	49
	つくし学童保育所	90	136
	やまびこ学童保育所	40	51
忠類	ちゅうるい学童保育所	25	17

来年4月からの保育新制度においては、厚生労働省令の基準を踏まえた上で、現状の学童保育所の内容が低下しないように取り組んでいきたいと考えている。

(3) 合併時は女性の管理職はいなかったが、本年4月時点では職員数237人中、女性職員81人で、うち管理職は3人となった。男性職員に比べ、子育てなど家庭での負担による難しい面もあるが、今後も個々の能力等に応じた職員の適正配置等に努め、各種研修等に女性職員を積極的に参加させるなど人材育成に努めながら、女性職員の登用の拡大を図っていきたい。

再質問 援農協会、高齢者就労センターは雇用側のニーズに合った紹介が可能なか伺う。

答 援農協会や高齢者就労センターとは、何度か事務担当のほうで話をしている。前者は生活労働を求める者が多く、後者は逆に継続的な仕事はあまり好まないということであった。

地域的な偏りや減少、高齢化傾向が続くが、十分協議をしながら円滑な運営に向けて、町としても支援体制をとっていかなければならない。